

# 『女性の装い展』開催中!!

平成26年度第2回オープン収蔵展示

観覧無料

期間 平成26年9月30日(火)  
~平成27年2月1日(日)



昔の人々のアクセサリー!



今回は、縄文時代から江戸時代にかけての女性のアクセサリーやおしゃれに関係する遺物を展示しています。「デザイン」や「目的」、「素材」などの移り変わりを、長崎県内から出土した遺物を通してご紹介します。この機会に是非ご覧ください。

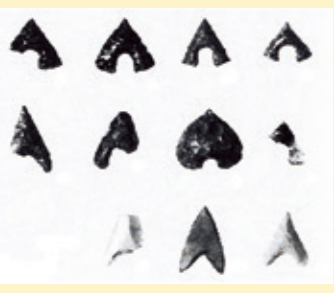
## キッズこうこがく

### 漢字検定!

歴史や考古学に関する地名・人名・資料名には、読み方の難しいものがたくさんあります。皆さんはいくつ分かるかな? 答えは次号で発表します!

#### 問1.川頭遺跡

**ヒント**  
諫早市にある縄文時代早期~中期の遺跡で、県指定の史跡です。写真は川頭遺跡から出土した石でできた鏃です。



#### 問2.小路遺跡

**ヒント**  
雲仙市にある遺跡です。写真は小路遺跡から出土した江戸時代に履かれていた下駄です。



#### 問3.葎の本窯跡

**ヒント**  
佐世保市にある窯跡です。とても古い窯跡で、窯業のはじまりを物語る重要な窯跡として県指定史跡に指定されています。



第8号のこたえ! ①河豚: フグ ②海豚: イルカ ③栄螺: サザエ

ホームページではバックナンバー(過去の「キッズこうこがく」)を見ることができます!

子どもたちのための考古学情報誌

# エッツズ

第9号  
平成26年12月

## こうこがく



上空から見た日野江城跡!  
山を丸ごと城に使っていました!



日野江城跡から出土した金箔瓦!



現在公開中の階段状遺構!



「踏み石」として階段に使われている仏塔!

### ながさき遺跡はっけん!

日野江城跡 連絡先  
南島原市教育委員会  
世界遺産登録推進室  
☎050-3381-5101

日野江城跡は、南島原市にある中世から江戸時代初め頃のお城の跡です。島原半島などを治めていた有馬氏の居城として築られました。平成7年から始まった発掘調査では、切石を用いパネル状の構造を持つなど海外の影響による石垣や、金箔を施した瓦などが出土しています。日野江城跡から出土した金箔瓦は豊臣政権との深いつながりを示すものと考えられています。また、仏教で使われる石塔などを「踏み石」として使用した階段も見つかっています。領主の有馬氏ですが、1500年代の後半頃になると口之津から伝わってきた基督教に改宗し、キリシタンを手厚く保護します。天正十年(1582)には、城主の有馬晴信などが「セミナリヨ」と呼ばれる学校で学んだ少年達をヨーロッパに派遣する事業なども行っています。日野江城跡は、原城跡(南島原市)とともに国の史跡に指定されています。現在、基督教の繁栄と弾圧を示す貴重な遺跡として、『長崎の教会群とキリスト教関連遺産』の構成遺産のひとつとして、世界遺産への登録を目指しています。



# MAIBUN QUEST

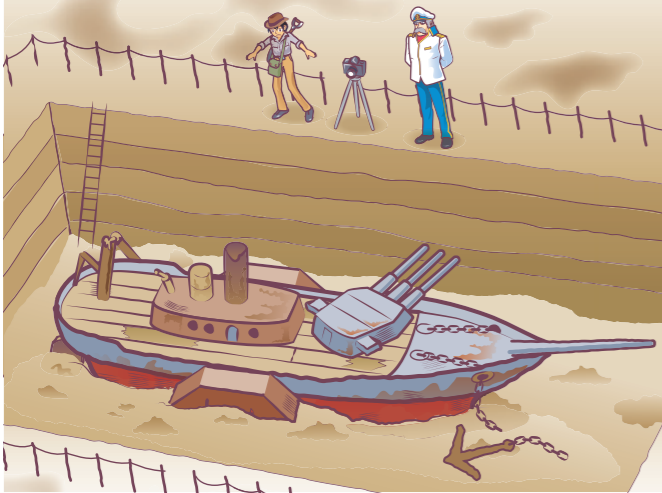
## マイブン・クエスト

### 第10話～ソロバンドックと外洋船ムサシ～



ソロバンドックに来たジョーは、船長のコダイに船を貸してもらおうよう頼みました。コダイはソロバンドックの外れに、はるか昔に造られた船が埋もれているという噂を聞いたことがあるそうです。そこで、ジョーが船の発掘を手伝うなら、掘り出した船をジョーに貸してくれると話しました。「むやみに土を掘るのが発掘じゃない。写真や図面で記録をとりながら掘り進めるんだ。」そうやってコダイは丁寧に発掘を続けます。

これはすごい！どんな嵐にも負けない、伝説の外洋船「ムサシ」じゃないか！！  
早速ソロバンドックで修復だ！



デビローはしつしつ、ソロバンドックの近海に浮かぶ小島、セキタン島へ向かいました。デビローがたったけの魔力を使うと、セキタン島は魔島「砲台島」に姿を変えてしまったのです！！  
「さ、さすがにくたびれたでピー…」  
ジョーと外洋船「ムサシ」はこれからどうなるのでしょうか！？

それでも悪魔ですか！  
この軟弱者！

あいにく、貸し出せる船が今はないんだ…でも、あの噂が本当なら…



そしてついに、とても昔の船とは思えないほど大きく立派な船が出土しました。ジョー達は船をソロバンドックに運び、再び航海に出られるよう修理を進めます。その様子を見張っていたサーたんは焦りました。「まずいわ、あんな大きな船に乗られたら冒険の邪魔ができなくなっちゃう…そうだ！デビロー、あの島を魔島に変えて船を沈めてしまいなさい！」

サーたん様、そんな疲れること嫌でピー！



サーたん

デビロー

# 冒険の足跡

## きみの町の遺産

### 小菅修船場跡(長崎市)

### 長崎造船所(長崎市)



小菅修船場跡は、長崎市小菅町にある遺跡で、別名「ソロバンドック」とも言われています。この修船場は1868年に創立されました。

小菅修船場ではレールの上に滑り台を置いています。潮の満ち引きを利用して、潮が満ちると巻上小屋に設置してあるボイラー型蒸気機関の力で引上げる仕組みになっています。海が満ちたり引いたりすることを利用して船を引き上げるなんてすごいアイデアですね！



小菅修船場

また、長崎市には小菅修船場だけでなく、1857年、徳川幕府によって日本で初めての船の修理工場である「長崎鋸鉄所」(今の長崎造船所)も設立されました。長崎造船所は現在も使われており、タンカーやコンテナ船、護衛艦など、色々な船の建造や修理をおこなっています。

ところで、長崎造船所に巨大なクレーンがあることをみなさんは知っていますか？この大きなクレーンはジャイアント・カンチレバークレーンといい、日本で初めて設置された電動クレーンです。形がハンマーに似ていることから「ハンマーヘッドクレーン」とも呼ばれています。1909年にイギリスから購入したもので、高さ62m、アームの長さは73mもあります。力も強く、なんと150トンもある重い物を吊り上げる能力があります。すごいですね！2003年には国の登録有形文化財に登録されました。ハンマーヘッドクレーンは、これまでに多くの船の建造や修理を行い、設置されてから100年以上経った現在も活躍しています。



ジャイアント・カンチレバークレーン

長崎造船所では様々な船が建造され、世界中の海を駆け回っています。みなさんが大人になった頃には、どんなすごい船が造られるのか、今から楽しみです！

この「ソロバンドック」と「ハンマーヘッドクレーン」は、旧グラバー住宅や軍艦島などと共に『明治日本の産業革命遺産』の構成遺産として、世界遺産への登録を目指しています！